

# 話題の「終活カウンセラー」って、どんな人たち？

相続や保険、葬儀や供養、死生観など、終活であつかう分野は多岐にわたります。時に専門知識も必要です。だから迷いや不安があつて当然。そこで、(一社)終活カウンセラー協会の認定する「終活カウンセラー」たちがサポートします。どんな専門家がどんな活動をしているのでしょうか。愛知県内に在住するカウンセラーの横顔を御紹介します。



**一般社団法人 終活カウンセラー協会**  
終活を普及させる目的で設立。「終活カウンセラー」資格を認定し、その育成に尽力している。エンディングノートが書けるような基礎知識を得られる初級資格に始まり、他の人にアドバイスができる上級資格、さらには「終活カウンセラー」を養成できるインストラクター資格へとステップアップが可能(写真は初級検定の様子)。

〒東京都品川区旗の台4-2-5 ホープイン旗の台2B  
☎03-6426-8019 <http://shukatsu-csl.jp>



終活カウンセラー協会が主催する「終活フェスタ」には最新の終活情報に触れようとの会場も大盛況となる人気のイベント。さまざまな体験を得ながら終活を具体的にを行うきっかけをつかめる。東京・大阪・沖縄で開催されている(写真は2014年8月24日に開催された終活フェスタin東京)



**高橋 哲夫 profile**  
たかはし てつお  
岡崎市福岡町上畑51番地  
SPJライフスポーツプラザ支配人  
NESTA ジャパン パーソナルトレーナー  
☎090-3932-0567  
E-mail: [t.takahashi@kanehara.co.jp](mailto:t.takahashi@kanehara.co.jp)  
<http://kanehara.co.jp>

高橋さんはスポーツクラブの支配人を長年に渡り勤める中で、会員が入院されたり、訃報が届くということも経験してきた。元気だった時に、自分やスタッフでもっと他にできる事がなかったのかと感じた事もあるという。そこで自ら終活に関わる情報を探し、終活カウンセラー協会と出会った。

地域の方々と愉しみながら  
エンディングノートを作成したい

高橋 哲夫 さん

社内には葬祭事業部があり、社内全体に終活を伝えたいとの思いから、社内啓蒙を続け、現在では39名もの社員が資格を取得するまでになった。一番力を入れている活動は、エンディングノート講座。毎月会員と一緒に愉しみながらエンディングノートを作成している。20名ほどで海外旅行にも行く「終活の旅」も実施。夢は飛行機をチャーターして100人以上の方々に旅に行く事。「満天の星空の下、ノートを書き上げた！」と意気込む。

## 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晚餐)  
北海道のじゃがバター
- \*人生最後に行きたいところ  
自宅
- \*天国に持っていきたいもの  
家族からの愛情
- \*天国で会いたい人  
両親
- \*生まれ変わったらなりたい職業  
スポーツクラブの支配人

# 看取りの体験から感じた終活の必要性を 主婦の目線で伝えていく

## 松岡 加津代さん

主婦として、現場目線での終活を伝えている松岡さん。49歳の時に実母を亡くし、進まない遺品の整理をしていた時、テレビで終活カウンセラーの事を知った。これから同じ境遇を向かえる人々にとって必要なことだと感じ、自分がこの終活の必要性を伝えたいと思ったという。認知症になった母の介護を経て、看取りを全うし

た時「元気なうちにもっと色々な話を聞いておきたかった」という強い思いがあった。家系の事、母自身のこと、自分についてのこと、もつと聞きたかった。終活について知っていたら、もつとできた事があったと。元気なうちにしかできないことがある、逆に元気なうちならできるとある。終活という、どうしても財産の話に目がいきがちななるが、自分や相手の『思い』を伝える事を一番にして欲しいという。



**松岡 加津代** profile  
まつおか かつよ  
豊橋市  
E-mail: kannon\_sita@outlook.jp

### 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晩餐)  
ジビエ
- \*人生最後に行きたいところ  
祖母が建てた学校や橋のある松山市  
母の出生地熊本  
ギニア高地、小笠原諸島
- \*天国に持っていきたいもの  
カメラ、オカリナ
- \*天国で会いたい人  
父母、祖父母
- \*生まれ変わったらなりたい職業  
道徳の先生

# その人の持ち味を引き出すコーチングで より自分らしい生き方をサポート

## 加藤 祐司さん

人それぞれの持ち味を引き出すコーチングのプロとして活躍されている加藤さん。今までテニスのコーチとして、多くの子供たちを指導をしてきました。この能力を活かして、人生をよりよく生きるためのコーチングをしたいと思いますところ、偶然終活カウンセラー協会と

出会った。人生の終焉を考えることよって「今をより自分らしく生きる」。このことを伝えるために、2012年頃から終活カウンセラーとしても活動を開始した。NPOやサークルにも関わり、現在では市の生涯学習センター等で講座も開催している。「より多くの人が気軽に相談できる環境を作りたい」との思いからシニアライフの相談窓口『終活サポーターズ名古屋』をオープン。辛い思いをしている人が少しでも減る社会作りに日々躍動している。



**加藤 祐司** profile  
かとう ゆうじ  
名古屋市瑞穂区高田町3-15 杉浦ビル  
有限会社ジャンクション代表取締役  
終活サポーターズ名古屋代表  
シニアライフ協会シニアコンシェルジュ  
☎052-842-7302  
E-mail: kato@coach-j.com  
http://www.coach-j.com

### 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晩餐)  
芋焼酎の熱めのお湯割とあじのひらき
- \*人生最後に行きたいところ  
特に無し
- \*天国に持っていきたいもの  
この世でもらった良縁
- \*天国で会いたい人  
祖父母、2013年45歳で亡くなった友人M君
- \*生まれ変わったらなりたい職業  
みんなの笑顔につながる仕事ならなんでも